



もっと英語を学ぼう！「機内食を頼む」篇

最初に「外国」に触れる体験。

それが飛行機の中だったりする人も多いかもしれないね。

今まで練習してきた英語が話せるかどうか、とても不安になるよね。

でも、何はともあれ人に頼らず、英語でスチュワーデスさんに話をしてみよう。

ドキドキする人は、前の列の人がどんな話をしているか

聞き耳を立ててみるといいよ。

I would like an orange juice, please. オレンジジュースをお願いします。

と言っている人もいるかもしれないし、

Is there any vegetarian dish? ベジタリアン用の食事ありますか？

と言っている人もいるかもしれない。

おもしろい言い回しだな、とか自分でも使ってみたいな、と思ったら

そのとおりに真似をしてみるんだ。

絶対に声に出して言わないと、うまく覚えられないよ。

言葉を覚える、ということは子供のように、大人のやることをよ～く観察して

同じことをやってみる、ということの繰り返しなんだ。

「刺身を食いたい」が「さみし、たぶたい」になっているかもしれないし

「焼き鳥をちょうだい」が「とりやき、おちょう」になっているかもしれない。

でもそれでいいんだ。間違っていれば誰かが正してくれるし、

そのうち正しい言葉に近づいてくる。

最初から正しい言葉話す赤ちゃんがいないように、

最初から正しい英語を話す人だっていないよね。

Let's make many mistakes! たくさん失敗しよう！

それが英語を上手に話すための、第一歩だよ。

使える言い回し What would you like to drink?

お飲み物は何になさいますか？



What would you like to drink? お飲み物は何になさいますか？

スチュワーデス役のごまちゃんのセリフ。

スチュワーデスや、レストランではウェイトレス、ウェイターが注文を聞く際に使う。

What would you like の後に today や tonight と使うことが多い。

(「レストランで注文する」のスキットを見てみよう)

英語豆知識 What と Which の使い方



Which would you like? We have Japanese or Italian.

どちらになさいますか？日本食とイタリアンがございますが。

What は「物を聞く場合」の疑問詞として使う(何、どんなもの、など)に使う。

Which は「人や物を聞く」疑問詞として使う。また、「どちら、どれ、どの人、誰」

など、答えがある程度限定されている場合に用いる。

EXAMPLE 例文



What type of man do you want to date with, kerol?

ケロル、どんなタイプの男性と付き合いたい？

この場合、人を聞いているため、What do you want to date with? は誤りで、上記例文のように“**What type of man**” とするか、

人を聞く場合の疑問詞 “**Who**” を使い、Who do you want to date with? にする。



I would like to date with a tall, good looking, tender, smart, rich man.

私がデートしたいのは、背が高く、かっこよくて、やさしくて、頭よくて、お金持ちの男性。



Well, let's get real. ちょっと現実的に考えてよ。

Those types of men are already taken by beautiful women.

そういう人たちは、もう美人たちにとられてるって。



Oh, Kerol! I have three brothers. **Which** do you want to date with?

あら、ケロル。それなら 3 人男兄弟がいるけど、誰と付き合いたい？

この場合、候補は話し手の兄弟に限定されているため、“**Which**” を使う。




Well, I'll think about it later. But, thank you anyway.

そうね。考えておくわ。でも、ありがとね。

(あまりノリ気ではない選択だったので、「後でね」と濁して断っている)

I'll think about it. (後で)考えてみる、もよく使うので覚えよう。

英語豆知識 I'd like ~ (I would like の短縮形)

 **I'd like Italian, thank you. イタリアンが 좋습니다。ありがとうございます。**

レストランなどで注文する際は“I'd like”の後にメニューを言ったり、

“I'd like this”と言ったりしてメニューを指すといい。

失敗スキットの中でリリーとナラピーが“What would you like?”と聞かれて、

 “I am an orange”,  “I am an apple”

(私はオレンジで～す。僕はリンゴで～す)と答え、スッチー役の

ボースに怒られたが、正しくは、“I'd like a glass of orange juice.”


(私はオレンジジュースをお願いします) “Orange juice, please.”

(オレンジジュースお願い)と言うべきだった。


上記のように自分が欲しいものを言うとき以外にも、“I'd like to ~ (動詞)”で、

「～したい」という意味でよく使う。“like”の代わりに“love”を使うこともある。

EXAMPLE 例文

: **Would you like to** meet Connely? コネリーに会ってみたい?

: Oh, **I'd love to**. 是非とも!

: But, just remember this. He is mine.

でもこれだけは覚えておいて。彼は私のものよ。

英語豆知識 数えられる名詞と数えられない名詞

 **And may I have a bottle of white wine, as well?**

それから白ワインも 1 本、いただけますか？

英語には、

- **Countable noun** (可算名詞 = 手につかんで数えられる名詞)と
- **Uncountable noun** (不可算名詞 = 数えられない名詞。例: 液体、気体、粉末、抽象的な事柄)がある。

Uncountable noun(数えられない名詞)である wine を数えて使うときは

“a bottle of” (ボトル 1 本)を wine の前につける。

機内ではワイン(白か赤)がミニボトルで出るため、“a bottle of” でよい。

レストランでワインをグラスで注文する時は、

“a glass of ” (グラス一杯)を wine の前につける。



数えられる名詞と、数えられない名詞。

日本人には難しい概念なので、また今度ゆっくり説明するね。

英語豆知識 as well / ~も



And may I have a bottle of white wine, as well? 白ワインも

“as well” は「~も」という意味や、前述したことに「更に」「その上」と言いたいときに使う。“too” や “also” と同様の意味。

“as well” と “too” の場合は通常、文の最後に用いる。

EXAMPLE 例文



I'm cute and beautiful. And sweet, **as well!**

I'm cute and beautiful. And sweet, **too!**

I'm cute and beautiful. And **also**, sweet!

私って、可愛いくって美人。その上、優しいんだから！



Oh, cut it off. わかったから、もう黙ってて。(やめて)

友達同士位でふざけている時など、「もうやめてよー」というのに

Cut it off と、よく使う。 Oh, stop it でもいい。

使える言い回し There you go & Here you go / はい、どうぞ。



There you go. はいどうぞ。(食事を差し出しながら)

Here you go/ There you go. どうぞ(人に物を差し出すときに使う)。

上記の他、Here we go/ There we go も同様に使える。

また人に差し出すときだけではなく、下記のような状況で

「また始まった」とか「ほらね」などの意味で使う。

EXAMPLE 例文(ほら、また始まった の例)

動物園でオヤジギャグを連発しているリリー(実は誰よりもおやじギャグが好き)



見て、鳥が餌をトリに行く！ 象が親子で歩いてるゾウ！

サイさん、サイナラ サイナラ。



You say too much stupid jokes! くっだらないうジョークばっか言ってる！



No, I don't! ええ、そんなことないわよお！



Yes, you do! 言ってる、ってば！



(何か呟いているゴリラを見て)わっ、英語を話すエイゴリラ！ キャハハ！



Here you go, again! ほら、でた～！


使える言い回し Enjoy ~ / ~を楽しむ




Enjoy your meal. お食事をお楽しみください(=お食事をご堪能ください)

フランクに「～を楽しんでくださいね！」という感じで使う。

EXAMPLE 例文

 What's up? どうしたの？

 I've gotta a big date tonight.

今晚、大切なデートがあるのよ。

I'm so nervous, don't know what to talk over dinner.


緊張するわ。夕食を食べながら何を話せばいいんだか。


 Relax, just **enjoy your dinner!** You are only dating with Panta.

大丈夫。ただ夕食を楽しめばいいのよ。 どうせデートの相手はパンタなんだしさ。

Enjoy は他にも「がんばれ！」という意味で使ったりもする。

EXAMPLE 例文2 (がんばれ! の例)

 Today is my first day at the nursery school. 今日、初めて保育園の日なの！

 **Enjoy it!** がんばれ！ (日本語で軽い意味の「がんばってえ」くらいの感じ)。


日本語でよく使う「頑張れ！」でどんな状況でも使える英語の直訳はない。

状況に応じて、


- Good luck! Break a leg! Take it easy! Hang in there!


などを使うといい。いずれも本当によく使う言い回し。以下例文。

EXAMPLE 例文3 (がんばれ! の例)

 I think our Naruhodo Agent will have to go out of business soon.

我々のなるほどエージェントも、もうすぐ倒産しなくちゃいけなくなるだろうね。

 **Take it easy,** Bohse. ポース、がんばってよ。

 **Hang in there,** Aunt Bohse! ポースおばちゃん、がんばって。

英語豆知識 Airplane と Flight の違い

飛行機というと “airplane” を使いたくなるが、“airplane” は飛行機の機体や物体

として表現する時に用い、搭乗便やフライトなどを意味する際は
“flight” を使うことが多い。

EXAMPLE 例文(flight の場合)



What would you like to have? 何になさいますか? (再びスッチー役)



Oh, I'd like some bamboo leaf, please. 僕はちょっと笹の葉をお願いします



I'm sorry, but no bamboo leaf served **on the flight**.

当機では笹の葉はご用意しておりません。

EXAMPLE 例文 2 (flight の場合)



What's the destination of that **flight**? あのフライトの行き先はどこですか
(Where is that **flight** going to? あのフライトはどこに行くのですか)



To Narita, Tokyo, Sir. 東京、成田行きでございます。

EXAMPLE 例文 3 (airplane の場合)



Dad, look at that **airplane**! パパ、見て、あの飛行機!



Wow, that's a huge **airplane**. おー。でかい飛行機だな。



Please tell me why the **airplane** can fly. どうして飛行機が飛べるのか、教えて。



Don't ask me. Ask Connolly. 俺に聞くなよ。コネリーに聞いておくれ。



But you are the agent, too.

でもパパだって、調査部員でしょ。

You must know everything about the world.

世界のこと何でも知ってるはずでしょ。



I know everything there is to know about beer. Do you wanna know?

パパはビールについて知らなきゃいけないことは何でも知ってるぞ。知りたいかい？



No, Dad. I 'm still a kid. I wanna know about the **airplane**.

知りたくないわよ、パパ。あたはまだ子供よ。知りたいのは飛行機のことなの！